

第 2 章

快適でやすらぎのあるまちづくり

(生活環境の整備)

2・1 廃棄物・リサイクル

目標

ごみの発生や排出を抑制し、分別排出の徹底を進めるとともに、ごみの再資源化を徹底し、循環型社会の形成、成熟化を図ります。

計画の体系

廃棄物・リサイクル	ごみ減量化の推進	ア 発生・排出の抑制 イ 分別排出の徹底 ウ 分別収集・運搬体制の整備 エ リサイクルの推進 オ リサイクルセンターの建設 カ ごみの有料化の導入 キ 廃棄物減量推進委員制度などの導入
	最終処分場の延命 産業廃棄物の適正処理の推進	

主な現行事業

排出指導事業

分別収集事業

減量化啓発事業

排出抑制対策事業

(コンポスト容器無償貸与、生ごみ処理機購入費補助など)

再資源化事業(プラスチック製容器包装再商品化事業など)

廃食用油リサイクル事業

ごみ収集車整備事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
廃棄物排出指導事業 【環境政策課】	ごみ排出量の削減を図るため事業者への排出指導を行う。	14,900
小牧岩倉衛生組合負担金 【環境政策課】	小牧岩倉衛生組合の管理運営などに対する負担	3,520,000

2・2 省エネルギー・新エネルギー

目標

市民・企業・行政の省資源、省エネルギー意識の高揚を図り、地球環境の改善に市民ぐるみで貢献します。

計画の体系

省エネルギー・新エネルギー	<p>市民意識の高揚</p> <p>市民の省エネルギー対策及び新エネルギー導入の支援の推進</p> <p>公共施設などでの省エネルギー対策及び新エネルギー導入の推進</p>
---------------	--

主な現行事業

省エネルギーなどのPR事業

市民病院コージェネレーションシステム（熱電併給システム）

ごみ焼却の余熱利用（温水プール、老人福祉センター）

環境対策助成事業（住宅用太陽光発電システム補助）

低公害自動車購入事業

地球温暖化対策事業（ESCO事業）

2・3 環境対策

目標

市民、事業者に環境保全への配慮と改善努力を働きかけるとともに、公害発生の未然防止に主眼をおいた環境対策を推進し、快適な生活環境の確保を目指します。

計画の体系

環境対策	<p>環境にやさしいライフスタイルの推進</p> <p>自主的環境保全活動の推進</p> <p>公害監視・苦情処理の充実</p> <p>都市・生活型公害防止の推進</p> <p>地盤沈下対策の強化</p> <p>交通公害対策の推進</p> <p>有害物質などの排出抑制</p>	<p>ア 率先活動の実践 イ 環境を考える自主的活動の支援</p> <p>ア 発生源の監視 イ 公害の監視 ウ 苦情処理体制の強化</p> <p>ア 啓発活動の推進 イ 電波障害対策の推進</p> <p>ア CO₂の排出抑制 イ 有害物質の排出抑制</p>
------	--	---

主な現行事業

環境ISO推進事業、こまき環境ISOネットワーク事業

環境保全推進事業（公害監視、苦情処理など）

環境フェア開催事業

市民環境講座推進事業

公共交通利用促進事業

環境基本計画推進事業

廃食用油リサイクル事業

地球温暖化対策事業

低公害車普及促進事業

主な計画事業		単位：千円
事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
地球温暖化対策地域推進計画策定事業 【環境政策課】	小牧市における地球温暖化防止への取組みを促進させるために推進計画を策定する。	6,000

2・4 空港対策

目標

名古屋空港周辺の環境整備事業を推進し、空港周辺住民の良好な生活環境の確保を図ります。

計画の体系

空港対策	環境対策の継続・強化 安全対策の推進 新たな環境対策への対応	ア 民家防音、公共施設の防音 イ 共同利用施設の整備 ウ 共同利用施設の維持管理費の助成
------	--	--

主な現行事業

民家防音事業

2・5 防 災

目標

市民の生命を守り、財産の被害を最小限に食い止めるため、災害防止対策を総合的・計画的に推進し、安心して住めるまちづくりを進めます。

計画の体系

防 災	地域防災計画の推進	
	防災意識の高揚	ア 啓発活動の推進 イ 防災訓練の充実
	防災体制の強化	ア 広域的防災組織の充実 イ 自主防災組織の育成・強化 ウ 情報収集伝達網の整備 エ 防災施設・備蓄資機材の充実 オ 避難応急体制の充実 カ 災害対策本部機能の充実 キ ライフラインの整備

主な現行事業

地域防災計画推進事業
防災訓練などの実施及び啓発事業
消防団や自主防災組織の育成・強化
地域防災無線の活用

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
デジタル地域防災無線 整備事業 【消防本部防災課】	デジタル移動系防災行政無線システム の設計・整備を行う。	255,000
緊急地震速報システム 整備事業 【消防本部防災課】	緊急地震速報システムを市内の公共 施設に導入する。	50,000
校舎耐震改修事業 【庶務課】	校舎耐震二次診断を実施し、診断結果 に応じて校舎の耐震改修工事を行う。	(4・2 学校教育(義務教育) 参照)

2・6 消防・救急

目標

市民生活の安全を確保するため、消防力の充実強化を基本とし、情報化社会に対応した消防緊急情報システムの整備や火災・救急救助にかかる消防体制の確立を図ります。

計画の体系

消防・救急	消防力の強化	ア 消防組織の充実強化 イ 特殊災害への対応強化 ウ 消防水利の充実
	消防団の充実・活性化	
	大規模災害への対応強化	ア 消防活動の支援システムの充実 イ 災害対策本部機能の充実
	火災予防対策の充実	ア 予防体制の強化 イ 啓発活動の推進 ウ 住宅防火対策の強化
	救急・救助体制の強化	

主な現行事業

消防車両購入事業

消防用施設設備整備事業

消防水利整備事業

消防団活動事業

救急救命士養成事業

救急講習、普通救命講習などの応急手当普及啓発事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
消防車両購入事業 【消防本部総務課】	高規格救急自動車、指揮車、化学消防車などを更新する。	244,000

2・7 防 犯

目標

市民の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の未然防止を重点とした対策を推進し、住みよいまちづくりを進めます。

計画の体系

防 犯	啓発活動の推進 自主的活動の促進 警察体制の強化 犯罪が起こりにくい環境の整備
-----	--

主な現行事業

防犯対策事業
 通学路こども110番の家設置事業
 防犯灯設置事業費補助金

主な計画事業

単位：千円

事 業 名	事 業 概 要	事 業 費 平成20～22年度
防犯対策事業 【生活課】	自主パトロール隊の支援と育成を行う。	30,000

2・8 交通安全

目標

市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、事故の未然防止を重点とした対策を推進します。

計画の体系

交通安全	安全教育の徹底と運動の推進 道路交通環境の整備・改善 交通事故被害者の救済策の充実 違法駐車防止対策の強化 放置自転車の対策	ア 啓発活動の推進 イ 自主的活動の促進 ウ 関係機関への働きかけ エ 学校での安全教育の充実
------	--	--

主な現行事業

交通委員
 交通安全推進事業
 交通事故相談事業
 自転車駐車場管理事業
 交通安全施設管理事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
交通安全施設整備事業 【道路課】	歩道等交通安全施設の整備を進める。	593,000

2・9 消費生活

目標

市民一人ひとりが賢い消費者になるよう、消費生活の向上や消費者被害を未然に防止するための教育・啓発と支援を進めます。

計画の体系

消費生活	消費者の教育、啓発と情報提供の充実 消費者被害への迅速な対応 消費生活センターの設置	ア 啓発活動の充実 イ 事業者や消費者団体などとの連携 ア 消費生活相談の充実 イ 消費者保護の強化
------	--	---

主な現行事業

生活展開催事業
消費生活相談事業

2・10 水環境（上水道）

目標

上水道第3期拡張計画を見直すとともに、ブロック配管計画(主要配水幹線のループ化)を柱とした事業計画を策定し、良質で安定した水の供給を進めます。

計画の体系

水環境 (上水道)	上水の安定供給 市民の節水意識の高揚 管きよの充実 水道事業会計の健全化	ア 上水道事業計画の推進 イ 非常時への対応強化 ウ 広域的水道整備 エ 水源の確保
--------------	---	---

主な現行事業

上水道第3期拡張事業
 県水受水事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
水道事業 【料金課・水道課】	水道事業会計への繰出金	300,000

2・11 水環境（汚水・排水）

目標

下水道の整備促進や合併処理浄化槽の普及、浄化槽の適正管理により、住環境の改善や河川浄化を図り、水環境の保全を進めます。

計画の体系

水環境 (汚水・排水)	下水道処理区域内の下水道整備促進 下水道処理区域の拡大 水洗化の促進 公共下水道の事業認可区域外の対策	ア 合併処理浄化槽の設置促進 イ 農業集落排水事業の推進 ウ 浄化槽管理の指導
----------------	--	---

主な現行事業

汚水管整備事業
 水洗化改造資金利子補給事業
 合併処理浄化槽普及促進事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
公共下水道事業 【下水道課】	公共下水道事業特別会計への繰出金	5,530,000
農業集落排水事業 【下水道課】	農業集落排水事業特別会計への繰出金	(5.5 農業 参照)

2・12 水環境（河川・水路）

目標

治水・利水機能を十分に発揮するとともに、都市空間における市民の憩いの場、やすらぎの場ともなるよう、治水総合計画の推進を図ります。

計画の体系

水環境 (河川・水路)	雨水対策の充実	ア 河川・水路の整備促進 イ 雨水貯留施設などの整備
	水辺空間の創出	ア 水と親しめる水辺空間の整備 イ 河川愛護意識の高揚
	自然環境の再生・保全	

主な現行事業

河川水路整備事業
雨水貯留施設設置助成事業
雨水貯留施設整備事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
雨水対策事業 【農政課・河川課】	雨水流出抑制対策として、雨水貯留施設、ため池整備などを進める。	525,000
河川水路整備事業 【河川課】	河川水路の維持・改修を進める。小針川については、地域住民の意見を取り入れながら整備を進める。	440,000
東部地区整備関連排水事業 【河川課】	東部地区開発に伴う雨水排水路の整備を進める。	35,000

2・13 公園・緑地

目標

緑の保全と創出による人・自然との共生を図るとともに、市民・企業・行政のパートナーシップに基づく緑のまちづくりを進めます。

計画の体系

公園・緑地	緑の保全・創出	ア 緑の基本計画の策定 イ 公園・緑地の適正配置
	市民参加の公園づくり	ア 計画段階から管理まで市民参加の公園づくりの推進 イ 市民活動への積極的支援
	市民四季の森の整備・充実	
	スポーツ公園の整備推進	ア スポーツの拠点整備推進 イ くつろぎ空間の整備 ウ 水辺スポットの整備
	農業公園の整備推進	ア 花をテーマとする公園整備 イ 農家と消費者のふれあいの促進 ウ 市民・企業参加の公園づくり
	管理体制の充実	ア 公園ボランティアの育成 イ 高齢者の能力活用場の提供

主な現行事業

緑化推進事業

公園緑地施設管理事業

公園緑地施設改修事業

花修景推進事業

バラ・アジサイ祭開催事業

主な計画事業		単位：千円
事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
公園整備事業 (区画整理区域内) 【都市整備課】	文津、岩崎山前、小牧南土地区画整理 地内の公園を整備する。	211,000
公園整備事業 【都市整備課】	東田中地区内の公園や太良上池・下池 などを整備する。	62,000
北西部地区公園整備事業 【都市整備課】	北西部地区内に公園を整備する。	6,000
どろんこ広場整備事業 【都市整備課】	花や樹木を中心とした緑地として整備 する。	20,000
あおぞら児童遊園トイレ 改修事業 【都市整備課】	あおぞら児童遊園に景観に配慮した トイレを設置する。	20,000
(仮称)農業公園整備事業 【農政課】	食育と環境学習をテーマにした農業 公園の整備を行う。	20,000

2・14 緑道

目標

高齢社会、余暇時代に対応する人・自然との交流施設として整備を図るとともに、都市景観、防災面にも配慮した整備を進めます。

計画の体系

緑道	緑道・自転車道の整備・充実 水辺を生かした緑道ネットワークの整備 既存緑道の管理の充実
----	---

主な現行事業

緑道整備事業（大山川、合瀬川、入鹿用水路敷緑道）
緑道管理事業

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
緑道整備事業 【都市整備課】	大山川、合瀬川、入鹿用水路、境川敷の整備を進める。	308,900

2・15 墓園・葬斎場

目標

増加する墓地需要に対応するため、公園的色彩を取り入れた墓園の整備の検討を進めます。

計画の体系

墓園・葬斎場	墓園整備の検討 尾張東部聖苑の管理運営の適正化
--------	--------------------------------

主な現行事業

尾張東部火葬場管理組合負担金

主な計画事業

単位：千円

事業名	事業概要	事業費 平成20～22年度
尾張東部火葬場管理組合負担金 【市民課】	尾張東部聖苑の管理運営などに対する負担	188,000